

Master of Flying Guillotine

愈天竜 / 王羽

獨臂拳王大戦血滴子

封神無忌 / 柯剛

片腕カンフー対 空飛ぶギロチン

伝説のカンフー・スター、 “ジミー・ウォング”復活!

1970年代、ブルース・リーの登場で世界的にブームとなったカンフー・ムービー。だが、もう一人、ブルース・リー登場以前の香港映画界で、ブームの立役者として揺ぎ無い地位を誇った男がいた。‘天皇巨星’と呼ばれた、ジミー・ウォングだ。代表作『片腕ドラゴン』('72)では、残酷かつ奇想天外な展開で、カルト的な人気を得、世界にその名を轟かせた。そのシリーズ屈指の第2作で、彼の最高傑作の1本『片腕カンフー対空飛ぶギロチン』('76)が、25年の時を経て、再びスクリーンに復活する。

「KILL BILL」の元ネタはこれだ!

『片腕ドラゴン』は愈天竜(ジミー・ウォング)が、敵の策略で右腕を失い、血の滲むような修行の末に習得した鋼鉄の左腕で、ラマ僧、柔術家、キックボクサーといった異種格闘技家を倒して復讐を遂げる。今回は愈天竜によって愛弟子を殺された封神無忌(カム・コン)が、盲目ながらも殺人兵器“空飛ぶギロチン”を操り、復讐のために愈天竜に襲いかかる。異種格闘技トーナメントに乱入し、トーナメントでその腕前を披露したインドのヨガ行者、タイのムエタイ使い、日本の侍など様々な武術家たちを仲間にして、会場を地獄に変えて行く。アクション監督には『少林三十六房』『酔拳2』のラウ・カーリオン & ラウ・カーウィン。共演の『恐れるドラゴン 不死身の四天王』のカム・コン、『少林寺木人拳』のドリス・ロン、『ゴッド・ガンブラー2』のロン・ファン、今やアクション監督として活躍のフリップ・クオックなど、現在も香港映画界を支える映画人たちの若かりし頃の姿も必見。



獨臂拳王大戦血滴子
One-Armed Boxer vs The Flying Guillotine

1976年 / 香港映画 / 1時間33分
配給: ツイン、キングレコード
監督・脚本: ジミー・ウォング 王羽
アクション監督: ラウ・カーリオン 劉家良
ラウ・カーウィン 劉家榮
製作: ウォン・チェックホン 黄卓漢
出演: ジミー・ウォング 王羽
カム・コン 黄剛
ドリス・ロン 龍君兒
ロン・ファン 龍方

●監督プロフィール

1943年中国江蘇省生まれ。64年、ショウ・ブラザーズのオーディションを受け俳優デビュー。俳優はもちろんのこと、監督・脚本・製作など、アジア映画界をまたにかけて活躍を続け、日本映画においても『座等市破れ唐人剣』('70)で勝新太郎と共演している。ジャッキー・チェンの『ファースト・ミッション』や『炎の大走査線』でプロデューサーを務め、現在は台湾に移住し、実業家としても活動。

ジミー・ウォング JIMMY WANG YU

(連日) 20:45～ (終22:25)

1月24日(土)より激闘レイトショー! [2/6(金)まで]

前売り鑑賞券1300円(当日一般・大・高生1500円の処)劇場窓口、チケットぴあにて発売中

●劇場窓口にてお買上げの方に先着限定で復刻版オリジナルポストカードをプレゼント!

梅田スカイビル(空中庭園)タワーイースト4F

梅田ガーデンシネマ

06(6440)5977 www.cineplex.co.jp

毎土・日・水曜日および映画サービスデー(毎月1日)は混雑状況にかかわらず入場整理券を発行いたします

